

## S G H 課題研究 マレーシアフィールドワークの様子

12月21日（日）～24日（水）の日程で、北野高校S G H課題研究「アジア探究」の取組みの一環として行われたマレーシアでの研修とフィールドワークの紹介です。

12月21日（日）

参加予定者2年生の生徒22名は全員出席です。関西空港を10時30分に出発しました。



ベトナム航空（関西空港にて）

途中ホーチミンの空港で約1時間の乗り継ぎ…

クアラルンプールには現地時刻で18時40分頃に到着。

空港からはバスで夕食場所へ移動。

遅い夕食を摂った後、22時前にルネッサンス・ホテルに到着。長い一日が終わりました。



ホテルの窓からクアラルンプールのランドマーク、ペトロナス・ツインタワーが近くに見えます

1 2月22日（月）

6:30 起床。参加者全員元気です。

午前中は現地のガイドさん、カジャン高校の生徒・保護者・教員とともにグループ別行動でクアラ Lumpur 旧市街を見学しました。

ヒンドゥー教寺院や、中国系住民の信仰を集める関帝廟、中華街や Ethnic な工芸品を売る店もあるマーケットなどを見て回りました。



ヒンドゥー教寺院



関帝廟



セントラル・マーケット（駐車している自動車やバイクは日本のブランドが目立つ）

旧市街近くの飲茶で昼食の後は、IT 関連企業が立地するサイバージャヤへ。

今回は NTT コミュニケーションズの現地企業・NTT MSC (Multimedia Super Corridor) を訪問し、日本から赴任された役員・社員や、現地で採用された社員からお話をうかがいました。

企業についての概要や、NTT MSC が設立された背景に加えて、マレーシアでビジネスを行うことに関する興味深いお話が特に生徒たちの印象に残ったようです。

日本とマレーシアとの Business Culture や Life Culture の違いをふまえた上での相互理解が重要であるということが、現地の方から「生の声」で語られる意義は大きかったと思います。生徒からも積極的に質問が出ました。



夕食はマレーシアの料理を中心としたバイキング。そして様々な様式の舞踊を盛り込んだアトラクション。あらためてマレーシアが多民族の国であることを認識した一日でした。



衣装は中国系、インド系…



終了後に出演者のみなさんと記念撮影



12月23日（火）

6:00 起床。昨夜は今日のプレゼンのために準備をしていた生徒が多く、疲れているとは思いますが、体調を崩した生徒はいません。

午前中はカジャン高校で、北野生たちが学校生活および昨日の市内見学についての印象をグループごとにプレゼンテーション。現地の生徒たちにも好評でした。



カジャン高校の入口で生徒たちが歓迎

（冷房の効いたバスの中から高温多湿の屋外へ出たため、カメラのレンズが曇りました）



パワーポイントや模造紙を使ってプレゼンテーション

手厚いおもてなしの後、カジャン高校の生徒たちが企画してくれたセレモニーは、意外な一面からマレーシアの伝統文化を理解する良い機会となりました。

（通過儀礼の一種なのですが、さて何の儀式でしょうか？）



昼食は学校近くの店で Sate（牛肉・鶏肉の串焼き）と Ethnic な味付けの焼きそばを賞味しました。

午後は油やしの利用について研究する公的機関 MPOB (Malaysian Palm Oil Board) にて、レクチャーを受けた後展示室を見学。専門用語が多用される英語はかなり難しかったようですが、後の見学も含めて、油やしの製品が我々の日常生活に大きく関わっていることに気づいてくれたことと思います。

MPOBの構内には油やしの木があります



展示室で研究員の方から説明を受けました



空港へ移動する途中に、政治的機能を集めて郊外に新たに作られた都市であるプトラジャヤで途中下車して概観を見学しました。

プトラジャヤは人造湖のほとりに建設された町です。



今日もハードスケジュールの1日でしたが、無事空港に到着しました。

12月24日（水）

ほぼ定刻に関西空港に到着。全員無事に研修旅行を終えることができました。

今回のこの企画のためにご尽力をいただきましたみなさまに感謝申し上げます。